
転生先は多分モンハンの世界...

三上ありさ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生先は多分モンハンの世界：

【コード】

N0291Z

【作者名】

三上ありさ

【あらすじ】

死んでしまった私、気がついたら白い空間にいた
いきなり話かけられてモンハンの世界に行くことになったが…？

白い空間（前書き）

初めましてー

私は国語力ZEROなので、

誤字・脱字があればよろしく願います。
では始まり始まりーw

白い空間

私は死にました、
信号無視の車に跳ねられて…
気がついたら白い空間にいました。

「そのの、かーのじよっ」
「えっ？」

いきなり話しかけられたよ？ナンパ？私可愛くないよ？それとも「いつ馬鹿？」

「俺は馬鹿じゃないよ。あと君はかわういーよ」
「バレてるっ？！てか、ノリおかしー！？」

「神様だもーん、なんでもお見通しだ・ぜ」

……うわぁ、めんどくさいタイプの奴だ…

「そんで、いきなりだけどモンハンの世界に行ってもらっよ」

「は？何故モンハン？」

「…最近モンハンにはまってるからさ」

「なんか一瞬顔が曇ったような…」

「……………うるさいぞ」

うわぁ……………

「とにかく、どんな条件とかがいい？」

「絶対にハンターがいいな。あと、3rdの世界で。」

「了解 じゃ、いつてらっしやーい」

私はそこで気を失った…

「ヤバイ…ちょっと違う世界におくったかも…。まっ、いつか。」
頭を掻きながら言う神様だったのだった……

これがとても重要な事になることも知らずに…

白い空間（後書き）

主人公の性格

- 1、可愛い生き物を見ると、強烈にハグしたくなる。
- 2、生き物を大切にするタイプ。
- 3、困ってる人を見るとほっとけない。

装備

ユクモノシリーズ

武器は主に太刀

という設定にしております。

名前は…

次話でお願いします。

見知らぬ部屋（前書き）

続きだよん、ちよい長いかな？

見知らぬ部屋

気づいたら私は知らない部屋にいた、
そして、

「私は…誰なの？」

自分の名前だけが思い出せない
転生されたことは覚えているのに…

ガチャ

「あっ、生きてる。てか、起きてた。」

「えっ？」

『生きてる』ってなにさ、もしかしてとんでもないところに転生され
てた…？

「いや、てつきりランゴスタかなんかに殺られちゃったかとおもっ
たよ」

「私、そんなに弱く見えますか？」

「うん。」

うわ、随分バツサリ言うな、こいつ。

てかよく見ると…イケメンじゃね？！

「何しろ僕は一応上級ハンターだったからね。」

「だった？なんで？まだ若いのに」

「若くないさ、40だもん」

「…マジで？」

「マジ」

「見えない！」

「本当？嬉しいなあ。」

「…話変わりますけど、此所にハンターはいますか？」

「随分いきなりだね。いないよ、僕がやめてしまったからね…なんなら僕が君を一流のハンターにしてやっても構わないが…」

「ぜひっ、ヨロシクお願いします！」

「では最初はこのユクモノ装備をやるう。君、名前は？」

「名前は…れい、麗です。」

「そうか、麗。君にはユクモノ装備をプレゼントしよう、武器は…この中から一つ、選んでくれ。」

渡されたのは、

大剣、真ユクモノ大剣

太刀、骨断刀「カゲタチ」

片手剣、オデッセイ

双剣、サイクロン

ハンマー、フローズンコア改

狩猟笛、ドロスヴォイス

ランス、ナイトランス

ガンランス、竜骨銃槍

スラッシュアックス、グランドダッシュャー

ライトボウガン、バズルボローカ

ヘビィボウガンメテオリト

弓、アルカパトラ

だった

「では、私は太刀をいただきます。」

「うむ、では先に、訓練所に行き、初心者訓練をすべてクリアして

こい。」

「はい！」

そうして、私の第一歩が歩みだされたのだった…

見知らぬ部屋（後書き）

ハイハイ、ということまで二話目終わり。誤字・脱字がありましたら
お願いしますね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0291z/>

転生先は多分モンハンの世界...

2011年12月25日15時48分発行